

平成27年度第2回市川市総合教育会議 議事録

【会議概要】

日 時	平成27年7月30日（木） 午後1時30分から午後2時まで
場 所	市川市役所本庁3階 第4委員会室
議 題	(1) 大綱の策定について (2) 平成28年度教育振興重点施策について
出席者	大久保博市長、田中庸恵教育長、五十嵐芙美子教育委員、内田茂男教育委員、小林正貫教育委員、平田信江教育委員、平田史郎教育委員、関係職員（13名）
欠席者	なし
傍聴人数	2名

市長	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第2回の市川市総合教育会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は大変お暑い中、また、お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本年の4月23日の第1回会議では、教育に関する大綱の策定方針について協議をさせていただきました。また、教育委員会からは「市川市いじめ防止基本方針」についての概要報告をいただいたところです。</p> <p>本日は、お手元の次第にもございますとおり、2件の議題について協議させていただきたいと考えております。</p> <p>まず、議題(1)は、「大綱の策定について」であります。教育に関する大綱の案を作成いたしましたので、これを基に、みなさまと協議をさせていただきたいと考えております。</p> <p>議題(2)は、「平成28年度教育振興重点施策について」であります。こちらは、教育委員会がお考えの来年度の重点施策について、後ほどご説明いただければと思います。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、会議運営要綱6の(4)に基づき、本日の会議の公開・非公開の決定を行いたいと思います。</p> <p>議題(1)及び議題(2)については、ともに非公開事由に該当する議題ではないと思われまので、会議を公開することとしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>・・・異議なし・・・</p>
市長	<p>ありがとうございます。それでは、傍聴希望の方の入室を許可します。</p>

<p>市長</p>	<p>・・・傍聴人入室、着席・・・</p> <p>それでは、議題(1)の「大綱の策定について」の協議に入ります。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題(1)「大綱の策定について」をご説明します。着座にてご説明いたします。</p> <p>お手元の資料「(仮称)市川市教育振興大綱(案)」をご覧ください。大綱につきましては、4月23日の第1回会議におきまして、ひとつには、「教育及び文化・スポーツまで広く網羅すること」、また、「既存の2つの計画、総合計画第二次基本計画と市川市教育振興基本計画(第2期)において既に定められている、教育及び文化・スポーツに関する目標などを踏襲すること」、という2つの方針のもと、策定することをご了解をいただいております。今回提出させていただく大綱(案)は、その方針に沿って作成しております。</p> <p>それでは、順にページを追って、議題(1)資料「大綱(案)」についてご説明させていただきます。</p> <p>まず、表紙でございます。大綱は、この会議後、パブリックコメントを実施しまして、9月を目途に策定できればと考えております。</p> <p>次に1ページをご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正の趣旨、大綱策定に当たっての市長の考えをお示ししたいと考えております。</p> <p>次に2ページをご覧ください。ここでは、大綱策定の基本的な考え方、すなわち先ほど申し上げましたとおり、既存の2つの計画、総合計画第二次基本計画と市川市教育振興基本計画(第2期)において既に定められております、教育及び文化・スポーツに関する目標や方針を踏襲することをお示ししております。</p> <p>次に3ページでございます。前段では、大綱の対象期間を平成27年度から平成30年度までとする旨をお示ししております。そして後段でございますが、教育及び文化・スポーツに関する施策の目標に先立ちまして、既存の2つの計画の基本理念などをそれぞれ明記しております。</p> <p>次に4ページでございます。教育分野における施策の目標として、「子どもの育成」、「家庭・学校・地域の連携」、「教育環境の整備・充実」の3つを掲げております。これらは、市川市教育振興基本計画(第2期)で定めております本市教育の3つの目標を踏襲しているところでございます。</p> <p>最後に5ページでございます。文化・スポーツ分野における施策の目標として、「豊かな心を育む文化活動の支援」、「地域を彩る文化的資産の保全・活用」、「『まちの文化』や文化的資源の創出と情報発信」、「多文化共生のまちづくり」、「スポーツ環境の充実」の5つを</p>

	<p>掲げております。これらは、総合計画第二次基本計画で定めております文化・スポーツに関する施策の目標を踏襲しております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
市長	<p>説明が終わりました。ただいまから協議に入りたいと思います。何かご意見などございますでしょうか。</p>
内田教育委員	<p>この大綱（案）は、第1回の会議で決まった策定方針に沿っており、適当であろうと思います。</p> <p>ひとつお伺いします。大綱策定は9月を目途としているとのことですが、具体的な策定手続をお教えいただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>今後は、8月上旬から9月上旬までパブリックコメントを実施します。その後、パブリックコメントで寄せられた意見を集約した上で、9月中には策定できればと考えております。</p>
市長	<p>その他何かございますでしょうか。</p> <p>・・・発言なし・・・</p>
市長	<p>それでは、今ご説明しました手続に沿って、大綱の策定を進めさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>次に、議題(2)「平成28年度教育振興重点施策について」の協議に入ります。協議に入ります前に、来年度の教育の振興に係る重点施策につきまして、教育委員会のお考えをお伺いしたいと思います。説明をお願いいたします。</p>
田中教育長	<p>それでは、議題(2)「平成28年度教育振興重点施策について」のご説明を申し上げます。お手元の資料「平成28年度教育振興重点施策」をご覧ください。</p> <p>こちらは、本年7月2日になりますけれども、教育委員会として決定いたしました、来年度において教育の振興を図るため重点的に講ずべき施策の方針でございます。本日、市長と協議させていただいた上で、その結果等を踏まえまして、来年度の教育行政運営方針に反映して参りたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。詳細は、教育委員会事務局よりご説明申し上げます。</p>
石田教育次長	<p>それでは、平成28年度教育振興重点施策について事務局よりご説明申し上げます。</p> <p>お手元の議題2の資料2、カラー刷りの「平成28年度 教育振興重点施策の概要」をご覧ください。こちらに基づきまして、大変</p>

恐縮ですが着座にてご説明させていただきます。

まず「重点施策」を定める根拠でございますけれども、第一義的には地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づくものでございます。具体的には、カラー刷り資料の左下の枠囲みに示すとおり、先般の第1回総合教育会議で議決いただいた会議運営要綱の2(1)②に、総合教育会議で協議・調整すべき事項として、「翌年度の教育行政運営方針に係る重点施策」が掲げられておりまして、これに基づくものでございます。今回ご提案する「教育振興重点施策」は、先ほど教育長からもご説明がありましたとおり、本年7月2日の教育委員会会議にて教育長及び教育委員のみなさまにご議論いただき、議決をいただいたものでございます。

まず、平成28年度重点施策の策定の考え方についてご説明いたします。教育委員会といたしましては、「新規事業に係る施策の充実」、「点検・評価の結果に基づく施策の改善」、そして「新たな教育課題への対応」という3つのカテゴリーに分けて重点施策を位置付けております。資料左側にございますとおり、「新規事業」、「点検・評価」、「社会変化」というテーマに沿って掲げております。

一つは、市川市教育振興基本計画（第2期）に基づきスタートした新規事業に関わるものでございますが、具体的には「校内塾・まなびくらぶ」、「塩浜学園における小中一貫教育」、「中高連携による市川版中高一貫教育」の3事業でございます。市川市教育振興基本計画（第2期）で言うところの「施策1-2-1 確かな学力を育成する取り組みの推進」及び「施策2-2-2 学校間の連携の推進」が該当いたします。

二つ目は、毎年度の教育委員会の点検・評価の結果に基づく施策の改善を図るものでございます。平成26年度の施策に関する点検・評価では、キャリア教育や防災教育の推進など、7つの施策について十分な実現が図られてきていないと評価したところでございます。このため、これらの施策を重点施策と位置付け、改善を図りたいと考えております。

三つ目は、国の制度改正など、社会変化に伴って顕在化した新たな教育課題への対応でございます。まず、政府全体で推進する「地方創生」という中で、家庭、学校、地域の連携の在り方を改めて捉え直そうという動きがございます。そのことへの対応を掲げております。また、文部科学省が「学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を通知したことを受け、学校適正規模の検討を重点施策として掲げているところでございます。

教育委員会事務局といたしましては、本日の総合教育会議において、これらの重点施策について協議いただき、その結果を踏まえ、関係部との調整の上、来年度の教育行政運営の基本方針の策定に取り組んでまいりたいと考えております。

	<p>なお、資料を1ページめくっていただきまして、次のページに「新規事業」の進捗状況を参考資料としてまとめておりますのでご紹介させていただきます。</p> <p>まず、「校内塾・まなびくらぶ」でございますが、昨年8月に全小中学校で開設し2年目を迎えております。参加者アンケートの結果も概ね好評でございます。今年度は大規模校に補正予算を配当いただき事業を充実させているところでございます。</p> <p>次に、「小中一貫教育の推進」でございますが、この4月に塩浜学園の開校式を開催し、4・3・2の学年区分による小中一貫教育をスタートさせております。中期からの教科担任制の導入、「塩浜ふるさと防災科」や理数教育の充実に取り組んでいるところでございます。今後は、今年度設置いたしました塩浜学園運営委員会において、小中一貫教育の検証や「塩浜ふるさと防災科」のカリキュラム開発、本体校舎の整備などに取り組んでいくこととしております。</p> <p>3点目の「中高連携の推進」につきましては、本年5月に「市川市中高連携推進に関する基本構想」を策定しまして、公立高校、私立高校との中高連携を進めているところでございます。私立学校との連携に関しましては、この8月に市川市教育委員会主催により「学校間連携推進研修会」を開催いたしまして、市内私立学校から一貫教育の取組みを発表いただく予定でございます。公立学校との連携に関しましては、この4月からモデル校における研究をスタートさせております。例えば、国府台高校と第一中学校の間では「学力向上」をテーマに研究をお願いしております。</p> <p>ご説明は以上でございます。ご質問がございましたら所管より回答申し上げます。</p>
市長	<p>ありがとうございました。説明が終わりましたので協議に入りたいと思います。この議題につきましては教育委員会として合意されているものかと思っておりますので、私のほうから質問をさせていただきます。</p> <p>教育委員の皆さんにお伺いしたいのですが、ただ今教育次長からご説明いただきました3つの新規事業は、実は私が2年前の選挙の際に公約で掲げたものでして、現在このように実践しているところですが、これらの3つの事業についてご意見があればお聞かせいただきたいと思っております。</p>
小林教育委員	<p>今年4月からスタートした塩浜学園については、教育委員会においても様々な議論を重ねております。市長さんには開校式にもお越しただいておりご存知かと思っておりますが、小中一貫校とはいいつつも別棟の校舎となっております。新しい校舎というのは難しいという話も聞いてはおりますが、中学3年生までがほぼ同じ校舎で学べ</p>

<p>市長</p>	<p>る施設整備をなるべく早い時期にお願いしたいと思います。</p> <p>塩浜学園に限らず、学校その他の市の施設というのはことごとく老朽化しておりまして、今年度から組織を新たに見直し、市の施設全体を見通した長期的な計画を策定している段階でございます。計画はそのうちお示しすることになります。塩浜学園につきましては、優先的にやらざるを得ないという気持ちは持っております。</p>
<p>田中教育長</p>	<p>それでは新規事業につきまして、私のほうからも感想を申し上げます。</p> <p>「校内塾・まなびくらぶ」でございますが、議題(2)資料3にもございますとおり、54,857人という非常に多くの子ども達が参加しております。何より嬉しく感じておりますのは、参加者のアンケート結果で「わかった、できるようになった」と感じている子ども達が8割超、また、「学習することが楽しい」と感じている子ども達が8割近く、「言われなくても進んで学習する」と回答した子ども達が6割強となっております。このような実績を踏まえて、今後さらに地域の講師や協力者の方々にご支援をいただき、事業を進めていきたいと考えておりますし、伸びしろもあると感じております。</p> <p>次に「小中一貫教育の推進」についてですが、塩浜学園の小学校校舎では小学校4年生まで、中学校校舎では小学校5・6年生と中学生が学習しております。その結果、小学校4年生の子ども達は、小学校校舎における最上級生として、下級生達の面倒をみるといった「心の成長」を目にする機会が増えております。そういった面で徐々に成果も出つつあるのではないかと感じております。</p> <p>次に「中高連携の推進」につきましては、実質的にはスタートしたばかりでありまして、この秋くらいには、多少なりとも成果が見えてくるのではないかと考えております。また、そのときにご案内申し上げたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>そうすると、「小中一貫教育の推進」や「中高連携の推進」については、成果が出てくるまでには少し時間が必要ということですね。</p> <p>「校内塾・まなびくらぶ」に関しまして、私のねらいといたしましては、「子ども達に自発的に学びたいと思ってもらうこと、あるいは、勉強が楽しいと感じてもらうこと」でありました。私自身が勉強が嫌いだったものですから、その経験から考えた政策でございます。思ったとおりの成果が出ていることを大変ありがたく感じております。この事業につきましては、次年度予算をさらに増額したいとの要望があれば考慮したいと考えております。</p> <p>その他どなたかご意見ございますでしょうか。</p>

五十嵐教育委員	<p>「校内塾・まなびくらぶ」については、もっとパーセンテージを上げたいと感じています。あと、アンケートで「わかった、できるようになった」と回答していない残りの17.5%の子ども達をどうしていくかということも課題であると感じています。</p>
平田（信）教育委員	<p>私の子どもも小中学生ですので「校内塾・まなびくらぶ」の話はよく聞いているのですが、学校単位で取組内容に差異があるのが実情です。対象となる学年の違い、実施時間や曜日の違いもありますし、講師となる方に関しては、地域人材の場合があったり、学校の先生でやりくりしている場合もあると聞いています。課題を洗い出して対応することで、入っていない子ども達、乗り切れていない子ども達にも拡げていければいいのではないかと感じています。</p>
市長	<p>初年度のため様々な課題もあろうかと思えますし、予算にも限りはあります。また、人の確保が十分でない面もあるかもしれません。</p>
平田（信）教育委員	<p>「中高連携の推進」については、例えば、教職を目指している高校生の活用などにも取り組めるといいのではないかと思います。</p>
市長	<p>ご意見ありがとうございました。 それと1点質問がございまして、資料2に「家庭・学校・地域の連携施策の再構築」とあります。現在でも連携は図れているように見受けられますが、全般的にはいかがでしょうか。</p>
教育委員会事務局	<p>家庭・学校・地域の連携施策の現状でございますが、現在でも様々な施策を講じております。いくつか例を申し上げますと、各小・中・特別支援学校におきまして、家庭・学校・地域の代表が集まる会議を開催いたしまして、情報の共有を図る「コミュニティサポート委員会」、校長の求めに応じて学校運営についてご意見をいただく「学校評議員」、学校側のニーズに合った人材を地域から探してご紹介いただく「学校支援コーディネーター」、子どもがわかる授業のために、保護者や地域の方に学校教育活動にご協力いただきます「学習支援クラブ」、遊びを通して子どもたちに様々な体験をしていただく「コミュニティクラブ」などございます。</p> <p>これらの事業につきましては、複数の方々が重複して参加・協力しているという現状もございますので、今後は、こういった方々の負担軽減を図りつつ、家庭・学校・地域の連携をより深めてまいりたいと考えておりまして、連携施策の整理統合も図りたいと考えているところでございます。</p> <p>また、今後の方向でございますが、国では「コミュニティスクー</p>

市長	<p>ル」を全国展開していくという方針を打ち出していることでもありますので、国の動向も注視してまいりたいと考えております。</p> <p>ありがとうございました。その他何かございますでしょうか。</p> <p>・・・発言なし・・・</p>
市長	<p>ありがとうございました。教育委員会がお考えの来年度の重点施策につきましては、詳細な説明をいただきましたのでよく理解することができました。必要な予算措置につきましては、今後、サマレービューや、財政部との調整などを通じて、しっかりと取り組んでいければと思います。</p> <p>以上で、本日の議題の協議はすべて終了しました。その他何かありますでしょうか。</p> <p>・・・ 発言なし ・・・</p>
市長	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただき、また、貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>総合教育会議は本日で2回目となります。前回、そして今回と、教育委員のみなさんから様々な意見を直接お伺いすることができました。書面でいただくのとは違った感触がありまして、大変意義深い、いい機会であったと感じております。</p> <p>今後も、本市教育のより一層の振興に向け、この会議を活用してまいりたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、平成27年度第2回市川市総合教育会議を閉会します。ありがとうございました。</p> <p>・・・閉会・・・</p>